

国際スケート連盟

Communication No. 2172

シングル & ペア・スケーティングおよびアイス・ダンス

国際ノービス競技会のガイドライン(ISU Communication 2024 の置き換え)

2018 年 6 月 25 日訂正

2018 年 8 月 10 日訂正(アイス・ダンス減点表(ノービス) - 14-15 ページ)

2018 年 10 月 1 日訂正(アイス・ダンス C. 1.3 - 6 ページ)

A. 全般

1. 参加申し込み

競技会への参加申し込みは、スケーターの年齢とレベルに基づき、(国際競技会については)メンバーにより、(インタークラブ競技会については)地区/クラブにより、なされる。地区/クラブは ISU 加盟メンバーのメンバーでなくてはならない。

2. 年齢要件

規程第 108 条第 3 項

c) 国際ノービス競技会におけるノービス・スケーターとは、競技会に先立つ 7 月 1 日までに以下の要件を満たすものをいう。

- i) ベーシック・ノービス - 13 歳に満たない者
- ii) インターミディエイト・ノービス - 15 歳に満たない者
- iii) アドバンスト・ノービス - 10 歳に達しており、かつ女子(シングル/ペア・スケーティング/アイス・ダンス)および男子(シングル)にあつては 15 歳に満たない者、男子(ペア・スケーティング/アイス・ダンス)にあつては 17 歳に満たない者

3. 全てのノービス・カテゴリーにおける演技中の中断の減点

以下のそれぞれの中断に対し

- 10 秒を超え 20 秒まで..... -0.5
- 20 秒を超え 30 秒まで..... -1.0
- 30 秒を超え 40 秒まで..... -1.5
- 40 秒を超えた..... -2.0

中断地点から 3 分以内に再滑走することが許された場合の演技中断 -2.5

これらの減点の数値は規程第 353 条第 1 項 n) で定められた標準的なものではないので、レフェリーはシステムの操作員に特別な指示を行いそれぞれ入力正しいか確認しなければならない。

4. ノービスにおける転倒(*)の減点

- 転倒ごとに: -0.5 — 1 人だけ(シングル、ペア、アイス・ダンス)
- 転倒ごとに: -1.0 — 2 人とも(ペア、アイス・ダンス)

*転倒とは、“スケーターがコントロールを失い、その結果、体重の過半が身体ブレード以外の部分、例えば片手または両手、片膝または両膝、背、片尻または両尻、腕の一部によって氷上に支えられた状態”と定義されている(規程第 503 条第 1 項)。

5. 役員

- a) 役員の国際資格を除き、役員パネルの構成に関する ISU 規程第 420 条が適用される。各イベントでは、ジャッジの少なくとも 1 名とテクニカル・パネルの少なくとも 1 名は国際資格を有する者でなければならない。
- b) 採点、レフェリー業務、テクニカル・パネルの役割に関しては、ジュニアおよびシニアの国際競技会と同様の ISU 規程が適用される。
- c) レフェリー・レポートおよびテクニカル・コントローラー・レポートに関する規定は、規程第 433 条第 1 項、第 2 項が適用される。

B. シングル&ペア・スケーティング

1. シングル&ペア・スケーティングのノービス競技会における全般的な要求事項

シングル&ペア・スケーティングのノービス競技会で滑走される競技部分

a) シングル・スケーティングの競技は以下で構成される:

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| * ベーシック・ノービス | フリー・スケーティングのみ |
| * <u>インターミディエイト・ノービス</u> | フリー・スケーティングのみ |
| * アドバンスト・ノービス | ショート・プログラムとフリー・スケーティング |

b) ペア・スケーティング競技は以下で構成される:

- | | |
|---------------|------------------------|
| * ベーシック・ノービス | フリー・スケーティングのみ |
| * アドバンスト・ノービス | ショート・プログラムとフリー・スケーティング |

c) 演技時間:

シングル・スケーティング

ベーシック・ノービス	フリー・スケーティング	2 分 30 秒 ± 10 秒
<u>インターミディエイト・ノービス</u>	<u>フリー・スケーティング</u>	<u>3 分 ± 10 秒</u>
<u>アドバンスト・ノービス</u>	ショート・プログラム	<u>2 分 20 秒 ± 10 秒</u>
	フリー・スケーティング	3 分 ± 10 秒

ペア・スケーティング

ベーシック・ノービス	フリー・スケーティング	3 分 ± 10 秒
アドバンスト・ノービス	ショート・プログラム	<u>2 分 20 秒 ± 10 秒</u>
	フリー・スケーティング	3 分 ± 10 秒

その他

- すべてのノービスの区分においてシングルの女子・男子のウォーム・アップ・グループは最大8競技者としてよい。
- すべてのノービスの区分のシングルとペア・スケーティングにおいて、ショートおよびフリー・プログラムの後半に実施されて難しい要素に対するボーナスはないものとする。
- 1つまたは複数の余分なジャンプが行われた場合、要件に違反する単一のジャンプのみが無価値となる。実施順により余分なジャンプとみなす。

2. ノービス競技会におけるシングル・スケーティングの技術要件

2.1 シングル・スケーティングのベーシック・ノービス — 女子および男子

シングル・スケーティングのバランスのとれたフリー・スケーティング・プログラムは以下を含まなければならない:

- a) 最大 4 つのジャンプ要素。内 1 つはアクセル型ジャンプでなければならない。ジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスは 2 つまで含んでよい。ジャンプ・コンビネーションは 2 個のジャンプのみを含むことができる。ジャンプ・シークエンスは任意の回転数の 2 つのジャンプで構成され、任意のジャンプで開始し、最初のジャンプの着氷のカーブからアクセル・ジャンプのテイクオフカーブに直接踏み込み、直ちにアクセルタイプのジャンプに続くものである。
- トリプル・ジャンプおよびクワッドラブル・ジャンプは許されない。すべてのシングル・ジャンプおよびダブル・ジャンプ(ダブル・アクセルを含む)は合計 2 回を超えて行ってはならない。
- b) 最大 2 つの異なる性質(記号)のスピン要素。内 1 つはスピン・コンビネーションで、1 つは単一姿勢のスピン。スピン・コンビネーションは、足換えありなら最小 8 回転、足換えなしなら最小 6 回転。単一姿勢のスピンは、足換えありなら最小 8 回転、足換えなしなら最小 6 回転。どちらのスピンでもフライングによる入りは許される。
- c) 最大 1 つの氷面を十分に使ったステップ・シークエンス

演技構成要素は以下のみを採点する：

- ・ スケーティング技術(スケーティング・スキル)
- ・ パフォーマンス

演技構成点の係数は 2.5 とする。

レベルについての説明：

ベーシック・ノービスAのシングルにおいては、レベルの対象となる全ての要素は、レベル 2 までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず、テクニカル・パネルからは無視される。

2.2. シングル・スケーティングのインターミディエイト・ノービス — 女子および男子

男子および女子

シングル・スケーティングのバランスのとれたフリー・スケーティング・プログラムは以下を含まなければならない：

- a) 最大 5 つのジャンプ要素。内 1 つはアクセル型ジャンプでなければならない。ジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスは 2 つまで含んでよい。ジャンプ・コンビネーションは 2 個のジャンプのみを含むことができる。ジャンプ・シークエンスは任意の回転数の 2 つのジャンプで構成され、任意のジャンプで開始し、最初のジャンプの着氷のカーブからアクセル・ジャンプのテイクオフカーブに直接踏み込み、直ちにアクセルタイプのジャンプに続くものである。トリプル・ジャンプおよびクワドラプル・ジャンプは許されない。すべてのシングル・ジャンプおよびダブル・ジャンプ(ダブル・アクセルを含む)は合計 2 回を超えて行ってはならない。
- b) 最大 2 つの異なる性質(記号)のスピンの要素。内 1 つはスピン・コンビネーションで足換えあり(最小 8 回転)、フライングからの入りは許されない、1 つはフライング・スピン(最小 6 回転)または単一姿勢のスピンド足換えありかつフライングの入り(最小 8 回転)。
- c) 最大 1 つの氷面を十分に使ったステップ・シークエンス

演技構成要素は以下のみを採点する：

- ・ スケーティング技術(スケーティング・スキル)
- ・ パフォーマンス
- ・ 音楽の解釈(インタープリテーション)

演技構成点の係数は

- 男子 — 2.0
- 女子 — 1.7

レベルについての説明：

インターミディエイト・ノービスのシングルにおいては、レベルの対象となる全ての要素は、レベル 2 までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず、テクニカル・パネルからは無視される。

2.3 シングル・スケーティングのアドバンスト・ノービス — 女子および男子

男子

シングル男子のショート・プログラムは以下の要素からなる

- a) アクセル・パウルゼンまたはダブル・アクセル・パウルゼン
- b) ダブルまたはトリプル・ジャンプ。a)のジャンプの繰り返しは禁止。
- c) 2 つのジャンプから構成されるジャンプ・コンビネーションで 2 つのダブル・ジャンプまたは 1 つのダブル・ジャンプと 1 つのトリプル・ジャンプからなるもの。構成する両ジャンプは a)または b)のジャンプの繰り返しは禁止。
- d) 足換えのキャメルまたはシットまたはアップライト・スピン(各足最小 5 回転)。フライングからの入りは禁止。
- e) 足換え 1 回のみのスピン・コンビネーション(各足最小 5 回転)。フライングによる入りは許される。
- f) 1 つのステップ・シークエンスで氷面を十分使ったもの

女子

シングル女子のショート・プログラムは以下の要素からなる

- a) アクセル・パウルゼンまたはダブル・アクセル・パウルゼン

- b) ダブルまたはトリプル・ジャンプ。a)のジャンプの繰り返しは禁止。
- c) 2つのジャンプから構成されるジャンプ・コンビネーションで2つのダブル・ジャンプまたは1つのダブル・ジャンプと1つのトリプル・ジャンプからなるもの。構成する両ジャンプはa)またはb)のジャンプの繰り返しは禁止。
- d) 足換えなしのレイバック／サイド・ウェイズ・リーニング・スピンまたは足換えなしの単一基本姿勢のスピン(最小6回転)
- e) 足換え1回のみスピン・コンビネーション(各足最小5回転)。フライングによる入りは許される。
- f) 1つのステップ・シーケンスで氷面を十分使ったもの

ショート・プログラムの要件を満たさない(回転数が正しくない)ジャンプは無価値となる。もし同じジャンプが、ソロ・ジャンプとジャンプ・コンビネーションの一部として行われたなら、繰り返されたジャンプはカウントされない(繰り返しがジャンプ・コンビネーション内で生じた際は、上記要件に従っていない個々のジャンプのみがカウントされない)。

男子および女子

シングル男子および女子のバランスのとれたフリー・スケーティング・プログラムは以下を含まなければならない：

- a) **最大6つのジャンプ要素。**内1つはアクセル型ジャンプでなければならない。ジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスは2つまで含んでよい。ジャンプ・コンビネーションは2個のジャンプのみを含むことができる。ジャンプ・シーケンスは任意の回転数の2つのジャンプで構成され、任意のジャンプで開始し、最初のジャンプの着氷のカーブからアクセル・ジャンプのテイクオフカーブに直接踏み込み、直ちにアクセルタイプのジャンプに続くものである。2種類のトリプル・ジャンプのみジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスの中で繰り返してよい。クワッドラブル・ジャンプは許されない。すべてのシングル・ジャンプおよびダブル・ジャンプ(ダブル・アクセルを含む)およびトリプル・ジャンプは合計2回を超えて行ってはならない。
- b) **最大2つの異なる性質(記号)のスピン要素。**内1つはスピン・コンビネーションで足換えあり(最小8回転)、フライングからの入りは許されない、1つはフライング・スピン(最小6回転)または単一姿勢のスピンで足換えありかつフライングの入り(最小8回転)。
- c) **最大1つの氷面を十分に使ったステップ・シーケンス**

レベルについての説明：

アドバンスト・ノービスのシングルにおいては、レベルの対象となる全ての要素は、**レベル3**までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず、テクニカル・パネルからは無視される。

演技構成要素は以下のみを採点する：

- ・ スケーティング技術(スケーティング・スキル)
- ・ トランジション
- ・ パフォーマンス
- ・ 音楽の解釈(インタープリテーション)

演技構成点の係数は以下の通り

- a) ショート・プログラム
 - 男子 0.9
 - 女子 0.8
- b) フリー・スケーティング
 - 男子 1.8
 - 女子 1.6

3. ノービス競技会におけるペア・スケーティングの技術要件

3.1 ペア・スケーティングのベーシック・ノービス

ベーシック・ノービス競技会はフリー・スケーティング・プログラムのみで構成される。

バランスのとれたフリー・スケーティング・プログラムは最大以下を含まなければならない：

- a) グループ 1 または 2 から異なる種類のリフトを 2 つ、片腕ホールドは許可されない(リフトするパートナーの支持腕が完全に伸びることは要求されない)
- b) 1 つのツイスト・リフト(1 回転)
- c) 1 つのソロ・ジャンプ(1 回転または 2 回転)
- d) 1 つの単一姿勢のソロ・スピンまたは 1 つのペア・スピン
ソロ・スピンの足換えは任意で、足換えありの場合は最小 8 回転、足換えなしの場合は最小 5 回転。ペア・スピンは最小 5 回転。
- e) 1 つのピボット・フィギュア
- f) 1 つのステップ・シーケンスで氷面を十分に利用したもの

レベルの説明:

ベーシック・ノービスのペア・スケーティングにおいては、レベルの対象となる全ての要素は、**レベル2**までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず、テクニカル・パネルからは無視される。

演技構成要素は以下のみを採点する:

- ・ スケーティング技術(スケーティング・スキル)
- ・ パフォーマンス

演技構成点の係数は 2.0

3.2 ペア・スケーティングのアドバンスト・ノービス

ペア・スケーティングのショート・プログラムは以下の要素からなる

- a) グループ1~4から 1 つのリフト、片腕ホールドは許されない。
- b) 1 つのツイスト・リフト(1 回転または 2 回転)
- c) 1 つのソロ・ジャンプ(2 回転)
- d) 1 つの足換えなしのソロ・スピン・コンボ(最小 6 回転)
- e) 1 つのデス・スパイラル
- f) 1 つの氷面を十分に利用したステップ・シーケンス

バランスのとれたフリー・スケーティング・プログラムは最大以下を含まなければならない:

- a) グループ1~4 から異なる 2 つのリフト、片腕ホールドは許されない(グループ1および 2 では、リフトするパートナーの支持腕が完全に伸びることは要求されない)
- b) 1 つのツイスト・リフト(1 回転または 2 回転)
- c) 1 つのスロー・ジャンプ(2 回転)
- d) 1 つのソロ・ジャンプ(2 回転)
- e) 1 つのペア・スピン・コンビネーション(最小 6 回転)
- f) 1 つのデス・スパイラル

レベルの説明:

アドバンスト・ノービスのペア・スケーティングにおいては、レベルの対象となる全ての要素は、**レベル3**までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず、テクニカル・パネルからは無視される。

演技構成要素は以下のみを採点する:

- ・ スケーティング技術(スケーティング・スキル)
- ・ トランジション
- ・ パフォーマンス
- ・ 音楽の解釈(インタープリテーション)

演技構成点の係数は以下の通り

- a) ショート・プログラム 0.8
- b) フリー・スケーティング 1.6

C. アイス・ダンス

1. アイス・ダンスのノービス競技会における全般的な要求事項

1.1 アイス・ダンス競技の構成

ベーシック・ノービス	パターン・ダンス 2 つとフリー・ダンス
<u>インターミディエイト・ノービス</u>	パターン・ダンス 2 つとフリー・ダンス
アドバンスト・ノービス	パターン・ダンス 2 つとフリー・ダンス

1.2 フリー・ダンスの演技時間

ベーシック・ノービス	フリー・ダンス: 2 分 ± 10 秒
<u>インターミディエイト・ノービス</u>	フリー・ダンス: 2 分 30 秒 ± 10 秒
アドバンスト・ノービス	フリー・ダンス: 3 分 ± 10 秒

1.3 ウォーム・アップの時間

各ウォーム・アップの時間と最大人数は(規程第 514 条第 2 項)

- c) アイス・ダンス – パターン・ダンス: 3 分(最初の 30 秒は音楽なし、次の 2 分 30 秒で ISU アイス・ダンス音楽の 6 番目(最後)の曲をかける)、最大 6 カップル
- d) アイス・ダンス
 - ii. フリー・ダンス(すべてのノービス): 3 分、最大 5 カップル

2. 国際競技会におけるパターン・ダンスの音楽の要件

シーズン 2018/19 から、すべてのパターン・ダンスについてカップルは各自の音楽を用意するものとする。

規程第 707 条第 6 項(新設):

パターン・ダンスの最後のステップを完了した後、カップルは 20 秒以内に最後のポーズを取らなければならない、この時間制限を超過した場合は第 353 条第 1 項 n) の減点が適用される。

- 他の国際競技会:
 - 主催者による競技会の要項での発表に従う

音楽はパターン・ダンスのリズムに従ったものを選ばなくてはならない。ボーカル音楽でもよい。必須のシーケンスの最初から最後までテンポは一定でなければならず、かつそのパターン・ダンスに要求されたテンポ(『ISU ハンドブック・アイス・ダンス 2003』を参照のこと) ± 2 拍/分に従わなければならない。

カップルは競技会ごとに自身の競技の最初の公式練習までに音楽を提出しなければならない。

注意:

- 音楽は ISU アイス・ダンス音楽から選んでもよい。ただしこの場合 1 曲目から 5 曲目までの中からのみ選んでよい。またカップルは規程第 343 条第 1 項に従って競技会用の音楽を用意するものとする。
- 上記の音楽要件やテンポ指定の違反は規程第 353 条第 1 項 n) により罰せられる。
- カップルが選ぶ音楽はすべてそのパターン・ダンスのスタイル/性格に合っていなければならない。
- カップルが音楽を用意した場合の規程第 708 条第 1 項 d) の適用にあたっては、音楽の 1 小節の 1 つ目の拍でそのダンスの最初のステップを開始するものと定める。

3. ノービス(ベーシック、インターミディエイト、アドバンス)のためのパターン・ダンスのセクション

規程第 708 条第 2 項では、各パターン・ダンスのパターンは複数のセクションに分割されうると定めている。2018/19 シーズンにベーシック・ノービス、インターミディエイト・ノービス、アドバンスト・ノービスのパターン・ダンスとしてアイス・ダンス技術委員会が採用したのは以下の通り:

2018/19 シーズンは、スイング・ダンス、ウィロー・ワルツ、フィエスタ・タンゴ、ロッカー・フォックストロット、アメリカン・ワルツ、フォーティーンステップ、タンゴ、アルゼンチン・タンゴ、ブルースのシーケンスはセクションには分割されない。

4. ノービス国際競技会のためのコールの仕様と難度レベル

4.1 パターン・ダンス

現時点でのパターン・ダンス要素についてのコールの基本原則と追加原則、追加の定義、定義と注記の明確化、および難度レベルの特徴が、パターン・ダンスのシーケンス／セクションに適用される。

ただし、パターン・ダンスのシーケンス／セクションにおけるレベル決定手順を採らないとする場合（規程第70条第3項 a) ii)を参照）、パターン・ダンスのシーケンス／セクションは両方のパートナーがシーケンス／セクションの 50%を滑ったときに認定されるものとする。

a) 2018/19 シーズンのノービス国際競技会のためのパターン・ダンスのシーケンス／セクションのキー・ポイントとキー・ポイントの特徴

ベーシック・ノービス	<u>パターン・ダンスについて、キー・ポイントは定められず、レベル1まで評価する。ジャッジはGOEでパターン・ダンスを評価する。</u>
インターミディエイト・ノービス	<u>パターン・ダンスについて、1つのキー・ポイントが定められ、レベル2まで評価する。ジャッジはGOEでパターン・ダンスを評価する。</u>
アドバンスド・ノービス	<u>パターン・ダンスについて、2つのキー・ポイントが定められ、レベル3まで評価される。ジャッジはGOEでパターン・ダンスを評価する。</u>

4.2 コールの追加原則

1. テクニカル・パネルがキー・ポイントとそれらが正確に実施されたかを認定する際のプロセスは、必須要素とそのレベルを認定する際のプロセスと全く同じである（すなわち多数決）。キー・ポイントの実行が正しいか正しくないかは「Judges Detail per Skater」に以下のように示される：
 - “Yes”: キー・ポイントの特徴がすべて満たされ、全エッジ／ステップが要求された拍数の間保たれた、または
 - “Timing”: キー・ポイントの特徴がすべて満たされたが、1つまたは複数のエッジ／ステップが要求された拍数の間保たれなかった、または
 - “No”: キー・ポイントの特徴が満たされなかった、エッジ／ステップが要求された拍数の間保たれたかどうかに依らない
2. パターン・ダンスのステップ数の割合（パーセンテージ）を評価する際には実施されたステップの総数に基づいて行う。
3. パターン・ダンスの入りや最中に転倒や中断が生じたが直ちに復帰した場合、転倒または中断の前後に満たされた要件に従ってその要素は認定され、レベルが与えられる。レベル Bの要件が満たされない場合はノーレベルとされる。
4. アドバンスド・ノービスのレベル3とインターミディエイト・ノービスのレベル2は、パターン・ダンスがつまずきや転倒やその他の原因による中断が全くない場合にのみ考慮される。
5. パターン・ダンスで（つまずきや転倒などにより）25%未満の間の中断があった場合、キー・ポイントは認定通りコールされるがレベルは1段階下げられ“ダウングレード<”の記号が付される。「Judges Detail per Skater」の表には次のように記載される: “<” 25%未満の中断を示す。
アドバンスド・ノービスでの例: Yes, Yes — レベル3からレベル2
インターミディエイト・ノービスでの例: Yes — レベル2からレベル1
6. パターン・ダンスで（つまずきや転倒などにより）25%から50%の間の中断があった場合、キー・ポイントは認定通りコールされるがレベルはレベル B まで下げられ“ダウングレード<<”の記号が付される。「Judges Detail per Skater」の表には次のように記載される: “<<” 25%から50%までの中断を示す。
例: Yes, Yes — レベル3からレベル B
7. カップルが実施したのがパターン・ダンス要素の50%に満たない場合、テクニカル・スペシャリストはキー・ポイントを実行されたとおりコールし、そのパターン・ダンスの名前と“ノー・レベル”に加え、“アテンション”とコールする。「Judges Detail per Skater」の表には次のように記載される: “!” パターン・ダンスの50%未満しか完了されなかったことを示す。
例: Yes, Yes — レベル3からノー・レベル

5. アイス・ダンスのベーシック・ノービス競技会の技術要件

5.1 パターン・ダンス

規程第 711 条第 1 項:国際ノービス競技会のためのパターン・ダンス課題はアイス・ダンス技術委員会から ISU コミュニケーションによって毎年 6 月 1 日以前に発表され、発表翌年の 7 月 1 日から発効する。

以下の中から2つのパターン・ダンスを滑走する:

グループ1:スイング・ダンス、ウィロー・ワルツ、フィエスタ・タンゴ

グループ2:フォーティーンステップ、ウィロー・ワルツ、キャナスタ・タンゴ

グループ3:フォックストロット、ダッチ・ワルツ、リズム・ブルース

- シーズン 2018/19: グループ 1
- シーズン 2019/20: グループ 2
- シーズン 2020/21: グループ 3

シーズン 2018/19

スイング・ダンス: 音楽 - フォックストロット 4/4、テンポ - 4拍子25小節/分(100拍/分)±2拍/分、セット・パターン、2シーケンス

ウィロー・ワルツ: 音楽 - ワルツ 3/4(ヨーロピアン・ワルツと同じ)、テンポ - 3拍子45小節/分(135拍/分)±3拍/分、セット・パターン、2シーケンス

フィエスタ・タンゴ: 音楽 - タンゴ 4/4、テンポ - 4拍子27小節/分(108拍/分)±2拍/分、セット・パターン、3シーケンス

ウォーム・アップ音楽

スイング・ダンス: ISU アイス・ダンス音楽のフォックストロットの 6 番目(最後)の曲

ウィロー・ワルツ: ISU アイス・ダンス音楽のヨーロピアン・ワルツの 6 番目(最後)の曲

フィエスタ・タンゴ: ISU アイス・ダンス音楽のタンゴの 6 番目(最後)の曲

公式練習

どちらのパターン・ダンスでも公式練習での各カップルの音楽が演奏される(1 番目のパターン・ダンスを各カップルが滑走した後に、2 番目のパターン・ダンスを各カップルが滑走する)

レベルの説明

パターン・ダンスではキー・ポイントは定められず、レベル1まで評価する。

ジャッジは GOE でパターン・ダンスを評価する。

ベーシック・ノービスのパターン・ダンスのレベルの特徴

レベル B	レベル1
両パートナーにより パターン・ダンスの 50%が 滑走された	両パートナーにより パターン・ダンスの 75%が 滑走された

パターン・ダンスの演技構成点は以下を採点する:

- ・ スケーティング技術(スケーティング・スキル)
 - ・ パフォーマンス
 - ・ タイミング
- 演技構成の係数は 0.7
 - 2つのパターン・ダンスを滑走する競技会では各ダンスの合計点に 0.5 の係数を乗ずる。

5.2 フリー・ダンス

規程第 710 条を適用する(ボーカル音楽可を含む)

ウェルバランス・フリー・ダンス・プログラムには以下のものが含まなくてはならない:

- 1つのスピンのまたはコンビネーション・スピン
- 1つのコンビネーション・セット・オブ・シンクロナイズド・ツイズル
- 2つのコレオグラフィック要素:1つはコレオグラフィック・キャラクター・ステップ・シーケンスであること
- もう1つは以下から選択
 - コレオグラフィック・リフト
 - コレオグラフィック・スピニング・ムーブメント
 - コレオグラフィック・ツイズリング・ムーブメント
 - コレオグラフィック・スライディング・ムーブメント

注意:コレオグラフィック要素の内容はコミュニケーション 2148(改訂)に掲載

レベルの説明

全ての必須要素(コレオグラフィック・エレメントを除く)において、レベル 1 がベーシック・ノービスのカップルの獲得しうる最大のレベルである。レベル 1 までの特徴だけが数えられる。カップルが行うことを選択したその他の追加の特徴はいずれもレベル要件として数えることはなく、テクニカル・パネルによって無視される。

演技構成点は以下を採点する:

- スケーティング技術(スケーティング・スキル)
 - パフォーマンス
 - 音楽の解釈(インタープリテーション)
- 演技構成点の係数は 1.0

6. アイス・ダンスのインターミディエイト・ノービス競技会の技術要件

6.1 パターン・ダンス

規程第 711 条第 1 項:国際ノービス競技会のためのパターン・ダンス課題はアイス・ダンス技術委員会から ISU コミュニケーションによって毎年 6 月 1 日以前に発表され、発表翌年の 7 月 1 日から発効する。

競技会の最初の公式練習より前に、そのシーズンの課題として発表された2グループの中から1グループを抽選する。各グループは2つのパターン・ダンスを含む。

グループ1:ロッカー・フォックストロット、アメリカン・ワルツ

グループ2:フォーティーンステップ、タンゴ

グループ3:フォックストロット、ヨーロピアン・ワルツ

グループ4:キリアン、スターライト・ワルツ

- シーズン 2018/19: グループ 1 とグループ 2
- シーズン 2019/20: グループ 2 とグループ 3
- シーズン 2020/21: グループ 3 とグループ 4

シーズン 2018/19

ロッカー・フォックストロット:音楽 — フォックストロット 4/4、テンポ — 4拍子26小節/分(104拍/分)±2拍/分、セット・パターン、4シーケンス

アメリカン・ワルツ:音楽 — ワルツ 3/4、テンポ — 3拍子66小節/分(198拍/分)±3拍/分、セット・パターン、2シーケンス

フォーティーンステップ:音楽 — マーチ 4/8 または 2/4、テンポ — 2拍子56小節/分または4拍子28小節(112拍/分)±2拍/分、セット・パターン、4シーケンス

タンゴ:音楽 — タンゴ 4/4、テンポ — 4拍子27小節/分(108拍/分)±2拍/分、セット・パターン¹、2シーケンス

¹ 訳注:英文では“set pattern”となっているが、タンゴは“ISU Handbook Ice Dance 2003”など各種資料ではオプション・パターンとされている。

レベルの説明

パターン・ダンスでは、1つのキー・ポイントが定められ、レベル2まで評価する。

ジャッジは GOE でパターン・ダンスを評価する。

レベル B	レベル1	レベル2
両パートナーにより パターン・ダンスの 50%が 滑走された	両パートナーにより パターン・ダンスの 75%が 滑走された	1つのキー・ポイントが正しく 実行された

パターン・ダンスのキー・ポイントとキー・ポイントの特徴(シーズン 2018/19)

ロッカー・フォックストロット

各シーケンス (RF1Sq, RF3Sq)	キー・ポイント 1 女性のステップ 11, 12 (LFO CIMo, RBO)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. CIMo: 正確なターン 3. CIMo:フリー・フットの正確な配置
各シーケンス (RF2Sq, RF4Sq)	キー・ポイント 1 男性のステップ 11, 12 (LFO CIMo, RBO)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. CIMo: 正確なターン 3. CIMo:フリー・フットの正確な配置

アメリカン・ワルツ

AW1Sq	キー・ポイント 1 女性のステップ 12, 13 (RBO-SwR, LBO-SwR)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ
AW2Sq	キー・ポイント 1 男性のステップ 12, 13 (LFO-SwR, RFO-SwR)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ

フォーティーンステップ

各シーケンス (FO1Sq, FO3Sq)	キー・ポイント 1 女性のステップ 1-4 (RBO, LBI-Pr, RBO, LBO-SwR)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. プログレッシブがシャッセになってない
各シーケンス (FO2Sq, FO4Sq)	キー・ポイント 1 男性のステップ 1-4 (LFO, RFI-Pr, LFO, RFO-SwR)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. プログレッシブがシャッセになってない

タンゴ

TA1Sq	キー・ポイント 1 男性のステップ 7 (XF-RFO-Rk)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. Rk (# 7): 正確なターン
TA2Sq	キー・ポイント 1 女性のステップ 22 (RFI3)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン

注:ステップの最後の拍でのチェンジ・エッジは、次のステップへのプッシュ/移行の準備動作であれば許される。

パターン・ダンスの演技構成点は以下を採点する：

- ・ スケーティング技術(スケーティング・スキル)
 - ・ パフォーマンス
 - ・ タイミング
- 構成点の係数は 0.7
 - 2つのパターン・ダンスを滑走する競技会では各ダンスの合計点に 0.75 の係数を乗ずる。

6.2 フリー・ダンス

規程第 710 条を適用する(ボーカル音楽可を含む)

ウェルバランス・フリー・ダンス・プログラムには以下のものが含まれなくてはならない：

- ・ ダンス・リフト：最大 1 つのショート・リフト
- ・ 1つのスピンまたはコンビネーション・スピン
- ・ 1つのコンビネーション・セット・オブ・シンクロナイズド・ツイズル
- ・ 2つのコレオグラフィック要素：1つはコレオグラフィック・キャラクター・ステップ・シーケンスであること
- ・ もう1つは以下から選択
 - コレオグラフィック・リフト
 - コレオグラフィック・スピニング・ムーブメント
 - コレオグラフィック・ツイズリング・ムーブメント
 - コレオグラフィック・スライディング・ムーブメント

注意：コレオグラフィック要素の内容はコミュニケーション 2148(改訂)に掲載

レベルの説明

全ての必須要素(コレオグラフィック・エレメントを除く)において、レベル 2 がインターミディエイト・ノービスのカップルの獲得しうる最大のレベルである。レベル 2 までの特徴だけが数えられる。カップルが行うことを選択したその他の追加の特徴はいずれもレベル要件として数えることはなく、テクニカル・パネルによって無視される。

演技構成点は以下を採点する：

- ・ スケーティング・スキル
 - ・ パフォーマンス
 - ・ 音楽の解釈(インタープリテーション)
- 演技構成点の係数は 1.0

7. アイス・ダンスのアドバンスト・ノービスの競技会の技術要件

7.1 パターン・ダンス

規程第 711 条第 1 項：国際ノービス競技会のためのパターン・ダンス課題はアイス・ダンス技術委員会から ISU コミュニケーションによって毎年 6 月 1 日以前に発表され、発表翌年の 7 月 1 日から発効する。

以下の2つのパターン・ダンスを滑走する：

- シーズン 2018/19: アルゼンチン・タンゴ、ブルース
- シーズン 2019/20: スターライト・ワルツ、クイックステップ

シーズン 2018/19

アルゼンチン・タンゴ：音楽 — タンゴ 4/4、テンポ — 4拍子24小節／分(96拍／分)±2拍／分、セット・パターン、2シーケンス

ブルース：音楽 — ブルース² 4/4、テンポ — 4拍子22小節／分(88拍／分)±2拍／分、オプショナル・パターン、3シーケンス

² 訳注：英文では“Tango”

レベルの説明

パターン・ダンスでは、2つのキー・ポイントが定められ、レベル3まで評価する。

ジャッジはGOEでパターン・ダンスを評価する。

ノービスのパターン・ダンスのレベルの特徴

レベルB	レベル1	レベル2	レベル3
両パートナーにより パターン・ダンスの 50%が滑走された	両パートナーにより パターン・ダンスの 75%が滑走された	1つのキー・ポイントが 正しく実行された	2つのキー・ポイントが 正しく実行された

パターン・ダンスのキー・ポイントとキー・ポイントの特徴(シーズン 2018/19)

アルゼンチン・タンゴ

各シークエンス (AT1Sq, AT2Sq)	キー・ポイント1 女性のステップ 13-15 (CR-RFO3, LBO, RFO) 男性のステップ 13-15 (CR-LBO, RFO3, LBO)	キー・ポイント2 女性のステップ 27-31 (CR-LBO, CR-RBO, CRLBO, CR-RBO, CR-LBO-SwR/RFI (between counts 4&1)) 男性のステップ 27-31 (CR-RFO, CR-LFO, CRRFO, CR-LFO CR-RFO-SwR)
キー・ポイントの 特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン	1. 正確なエッジ

ブルース

各シークエンス (BL1Sq, BL2Sq, BL3Sq)	キー・ポイント1 Lady Step 12-13 (LFI-CICho, RBO)	キー・ポイント2 Man Step 12-13 (LFI-CICho, RBO)
キー・ポイントの 特徴	1. 正確なエッジ 2. CICho (# 12): 正確なターン 3. CICho (# 12): フリー・フットの正確な配置	1. 正確なエッジ 2. CICho (# 12): 正確なターン 3. CICho (# 12): フリー・フットの正確な配置

注: ステップの最後の拍でのチェンジ・エッジは、次のステップへのプッシュ/移行の準備動作であれば許される。

パターン・ダンスの構成点はすべてを採点する:

- スケーティング・スキル
 - パフォーマンス
 - 音楽の解釈(インタープリテーション)
 - タイミング
- 構成点の係数は0.7
 - 2つのパターン・ダンスを滑走する競技会では各ダンスの合計点に1.0の係数を乗ずる。

7.2 フリー・ダンス

規程第710条を適用する(ボーカル音楽可を含む)

ウェル・バランス・フリー・ダンス・プログラムには以下のものが含まれなくてはならない:

- ダンス・リフト: 最大1つのショート・リフト
- 1つのスピンまたはコンビネーション・スピン
- 1つのストレート・ライン・ステップ・シークエンス(ミッドラインまたはダイアゴナル)・イン・ホールドまたはカーブド・ステップ・シークエンス(サーキュラーまたはサーペンタイン)・イン・ホールド(スタイル B)
- 1つのコンビネーション・セット・オブ・シンクロナイズド・ツイズル
- 2つの異なるコレオグラフィック要素を次の中から選択:
 - コレオグラフィック・リフト
 - コレオグラフィック・スピニング・ムーブメント
 - コレオグラフィック・ツイズリング・ムーブメント

コレオグラフィック・スライディング・ムーブメント

コレオグラフィック・キャラクター・ステップ・シーケンス

注意:コレオグラフィック要素の内容はコミュニケーション 2148(改訂)に掲載

レベルの説明

全ての必須要素(コレオグラフィック・エレメントを除く)において、**レベル 3** がインターミディエイト・ノビスのカッパルの獲得しうる最大のレベルである。**レベル 3** までの特徴だけが数えられる。カップルが行うことを選択したその他の追加の特徴はいずれもレベル要件として数えることはなく、テクニカル・パネルによって無視される。

演技構成点は以下を採点する:

- スケーティング・スキル
 - トランジション
 - パフォーマンス
 - 音楽の解釈(インタープリテーション)
- 演技構成点の係数は 1.0

Tubbergen,
June 13, 2018
Lausanne,

Jan Dijkema, President

Fredi Schmid, Director General

日本語訳の改定履歴

- | | |
|--------------------|--|
| - 2018 年 9 月 6 日 | 第 1 版作成 (アイス・ダンスのみ、14 ページの減点表は削除) |
| - 2018 年 10 月 18 日 | 第 2 版作成 (シングル&ペアを追加、9 ページに脚注を追加、減点表を追加、10 月 1 日の訂正版の内容を反映) |

8. アイス・ダンス 減点表-ノービス(2018年8月10日訂正)

	内容	罰則	責任者
1	演技時間違反 —フリー・ダンス— シーズン 2018/19 のノービス・コミュニケーションによる 超過または不足した 5 秒ごとに	-1.0	レフェリー
2	違反要素／動作 — 規程第 709 条および第 710 条の第 3 項 違反要素／動作ごとに <ul style="list-style-type: none"> リフト中の違反リフト動作/姿勢(第 704 条 第 16 項) 1 回転を超えるジャンプ(またはスロー・ジャンプ)または両パートナーが同時に行う 1 回転のジャンプ 氷上に横たわること 	-2.0	テクニカルパネル** どの要素においてもその実行中に違反動作があった場合、違反動作の減点が適用されかつその要素がベーシック・レベルの要件を満たしていればベーシック・レベルとされる。そうでない場合はノーレベルとコールされる。
3	演技時間違反 —パターン・ダンス—規程第 706 条第6項 パターン・ダンスの定められた最後のステップの後、終わりの動作/姿勢を取るために許された時間を超過した5秒ごとに	-1.0	レフェリー
4	衣装／小道具違反 — 規程第 501 条第 1 項とコミュニケーション 2148 号(訂正版) プログラムごとに	-1.0	レフェリー+ジャッジ*
5	衣装の一部／装飾品の氷上落下 — 規程第 502 条第 2 項 プログラムごとに	-1.0	レフェリー
6	転倒 パートナーの一方の転倒ごとに 両パートナーの転倒ごとに 転倒とは、“スケーターがコントロールを失い、その結果、体重の過半が身体ブレード以外の部分、例えば片手または両手、片膝または両膝、背、片尻または両尻、腕の一部によって氷上に支えられた状態”と定義されている(規程第 503 条第 1 項)。	-0.5 -1.0	テクニカルパネル**
7	演技開始の遅れ — 規程第 350 条第 2 項—1 秒から 30 秒遅れて開始した場合	-1.0	レフェリー
8	10 秒を超える演技実施中の中断 中断とはスケーターがプログラムの演技を中止した瞬間からプログラムの演技を再開した瞬間までに経過した時間と定義される(規程第 503 条第 2 項)。	10 秒を超え 20 秒まで -0.5 20 秒を超え 30 秒まで -1.0 30 秒を超え 40 秒まで -1.5	レフェリー*** 中断が 40 秒を超えた場合、レフェリーによって音による合図が発せられそのカップルは棄権とされる。
9	中断地点から再滑走することが許された3分までの演技の中断 — 規程第 515 条第 3 項 b) これらの減点の数値は規程第 353 条第 1 項 n)と第 843 条第 1 項 n) で定められた標準的なものではないので、適用時にレフェリーはシステムの操作員に特別な指示を行い、入力値が正しいことを確認しなければならない。	-2.5	レフェリー*** 中断開始後 40 秒以内にパートナーの一方がレフェリーに申告しない場合、あるいは与えられた追加の 3 分間以内にカップルが演技を再開できない場合、そのカップルは棄権とされる。
10	余分な要素 余分な要素ごとに ・余分な要素-ステップ・シークエンスの中のリフトまたはスピン(例:RoLi+ExEl, Sp+ExEl) ・追加の要素-フリー・ダンスのウェルバランス構成に従わないものは、コンピューターによって検出される。(例:CuLi*)	-1.0 要素は無価値	コンピューターが減点を行う。 TCはコールを認定あるいは訂正し、減点が適用されているか確認する
11	振付制限違反 プログラムごとに フリー・ダンス:規程第 710 条第 1 項 f)セパレーション, h)ストップ, j)氷上に手をつく(ISU コミュニケーションで別途指定された場合を除く)	-1.0	レフェリー+ジャッジ*
12	許された時間を超えたリフト 7 秒(ショート), 10 秒(コレオ), 12 秒(コンビネーション)を超過したリフトごとに	-1.0	レフェリー

(次ページに続く)

減点表-ノービス(続き)

13	音楽要件違反 — 規程第 707 条第 5 項とコミュニケーション 2148 号(訂正版) リズム: 音楽はパターン・ダンスのリズムに従ったものを選ばなければならない。音楽は ISU アイス・ダンス音楽から選んでもよい。ただしこの場合 1 曲目から 5 曲目までの中からのみ選んでよい。	プログラムごとに	-2.0	レフェリー+ジャッジ*
14	テンポ規定違反 — 規程第 707 条第 5 項とコミュニケーション 2148 号 テンポ: 必須のシーケンスの最初から最後までテンポは一定でなければならない、かつそのパターン・ダンスに要求されたテンポ±2 拍/分に従わなければならない(要求されたテンポは『ISU ハンドブック・アイス・ダンス 2003』および ISU ウェブサイトで公表されたベーシック・ノービスのパターンと説明を参照のこと)。	プログラムごとに	-1.0	レフェリー
* レフェリー+ジャッジ : 全ジャッジとレフェリーを含むパネルの多数決により減点を適用する。意見が 50:50 に割れた際は減点されない。画面上のボタンを押すことで減点を適用する。				
** テクニカル・パネル : TS が特定し、TC が認定あるいは訂正し、減点を行う。ただし TC による訂正要求に両 TS が賛同しない場合は TS と ATS による当初の決定が維持される。				
***これらの減点の数値は規程第 353 条第 1 項 n)で定められた標準的なものではないので、適用時にレフェリーはシステムの操作員に特別な指示を行い、入力値が正しいことを確認しなければならない。				